

第109号

令和3年5月24日

くすの木

《発行所》

指定介護老人福祉施設

玖珠園

〒879-4414

玖珠町大隈325番地

☎0973⑦3413



令和3年度 社会福祉法人玖珠会事業計画

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい世界情勢が一変してしまいました。県内の施設でもクラスターが発生し、終息するまで時間を要しています。このように身近に迫ったウイルスの恐怖に高齢者施設は対応に苦慮しています。玖珠園でも県からの通達や指導に従っています。予防としてマスクの着用、手洗いの励行、換気、飛沫防止に透明なアクリル板の設置、ご家族の面会中止、納入業者の館内への立ち入り禁止等を実施しています。また施設職員の心得として、社会生活をしていく中で事の重大さを認識し、自己責任で行動し、不要不急の外出を控え感染のリスクを可能な限りに抑えていく努力を行っています。

さて、来年度は3年に1度の介護報酬改定の年です。可能な限り加算を取り経営の安定を図ります。

玖珠園の入居条件が要介護3以上に決められて以来、入居者の重度化が進んだ結果入院者が増加傾向にあり、一度入院となると長期間に及び収入減になっています。入院日数を少なくする方向で調整します。

新任介護職員が多くなり、介護技術にばらつきが生じたため、理学療法士による介護技術講習会を開催しケアの技術を介護職員に習得させ、科学的介護を心がけています。

依然として介護職員の人材確保難が常態化しており打開策としてハローワークの申し込みやホームページにノーリーフィングケアの取り組み等を掲載し、玖珠園をアピールして職員確保に努めています。

大分県介護研修センター等で行われる各種研修にウエーブ参加して資質の向上を図るとともに職員の資格習得の助成制度を奨励し、職員の「やる気と自信」を植え付け、モチベーションを高めています。

職員待遇では人事制度の構築（キャリアパス）、労働環境の適正化等を十分に検討し、高品質でやさしく接遇できる職員の育成に努め、利用者に満足していただけるサービスを提供します。

1. 基本理念

- (1) 「やさしく ゆったり よりそって」をモットーとし、入居者・利用者一人ひとりが、自由と誇りと安らぎを持つて自分らしく生きるための援助を行います。
- (2) ほっとする存在の職員を目指します。

2. 玖珠会の運営方針

- (1) 地域社会の福祉サービスの充実に貢献します。
- (2) 一人一人の生命・人格を尊重し、自立支援を行います。
- (3) 安定した経営を目指します。

玖珠会の倫理・行動規範

- ①人としての尊厳に敬意を払います。
- ②施設環境を家庭的な雰囲気に近づけ、在宅生活に近い形で生活できるよう創意工夫します。
- ③個人情報保護法など関係法令を遵守し、利用者のプライバシーを守ります。
- ④地域の保健・医療等の関係分野との連携を深め、地域の福祉向上に努めます。
- ⑤より質の高い福祉サービスを提供するために、専門性の向上を図ります。

3. 事業計画の目標

- (1) 利用者のニーズに適応したサービスを提供し自分らしく生きる援助を行います。
- (2) 自立に向けた支援を行い、より高品質なサービスの提供を行います。
- (3) マリ・ムダ・ムラを省き経費の抑制に努めます。

4. 玖珠会の経営

社会福祉法人玖珠会は各事業の経営主体です。利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するため、適正かつ活力ある経営基盤の構築に努力します。

(1) 理事会・評議員会の開催

社会福祉事業を主体的に経営し、地域との連携強化と責任体制を確立するため、法人の意思決定機関である理事会を年4回・評議員会を年1回開催します。

(2) キャリアパス要件に基づく、人事制度の構築や労働環境の適正化を図り、職員の働く意欲の高揚と資質の向上を図ります。

(3) 各事業所おののおのの確実な計画を立て、各事業はそれぞれの使命・目標を十分理解し組織的に協働して責任を果たします。

5. 事業管理

- (1) サービス事業
それぞれの事業に応じたサービス提供方針と事業目標を明確にし、サービスの質の向上をめざし玖珠会の運営方針の実現を図ります。
- (2) 施設の環境整備
各事業所の入居者・利用者の方が、安全で快適な生活が送られるよう環境の整備を行います。
- (3) サービスの評価
 - ①「玖珠会福祉サービス向上委員会」を毎月開催し、利用者・家族・保険者などからの相談・苦情あるいは転倒事故などの実例について委員会に報告し、意見・助言を求める解決に努めます。
 - ②入居者・利用者のサービス提供は、ケアプランを十分熟知しモニタリングを行いその評価を次回のケアプランに役立てます。
 - ③玖珠園ホームページに最新の情報を掲載し広報誌「くすの木」と併せて地域・関係機関に玖珠会の各事業をPRします。また地域で開催されるイベントに玖珠会の広告を掲載し、地域住民に事業の

案内を行います。

④外部評価事業を受審し、ワムネットに結果を公表します。（グループホーム）

(4) 危機管理等への対応（リスクマネジメント）

- ①利用者が持っている心身にわたる生活上のリスク、利用者の家族、その他来訪者、スタッフにかかるリスクを無害化または軽減できるように努めます。
- ②介護事故発生時は迅速かつ適切な対応策を行のように努めます。
- ③リスクマネジメントに関する情報は全職員に周知理解を徹底します。

④リスクマネジメントに関する情報は全職員に周知理解を徹底します。

なお令和2年度は全事故数159件中（令和3年1月現在）、

「転倒・転落」が57件、「外傷」が67件と高い割合を占めており、都度対策を講じてきています。令和3年度も引き続き「転倒・転落」、「外傷」のキーワードを中心に関員の質の向上や環境整備を行い、利用者様の安心・安全の確保に努めます。

6. 人事管理

人事の問題は職場におけるモチベーション低下に繋がりかねません。キャリアパス要件を踏まえ人事制度を構築し、職員のモチベーションを高め、質の高いサービスを提供できるよう、職員教育（研修）に力を入れます。

①「人材育成委員会」において年度の研修計画を立て、職員資質の向上のため施設内研修、外部研修への参加を促し職員の資質の向上に努めます。各種資格取得のための必要経費を補助し、職員の意欲と資質の向上に努めます。

②人材の確保：新採用職員を研修・教育し、高い資質を備えた人材の育成を行います。また、継続雇用制度を導入し優秀な職員の確保に努めます。

③人事考課制度の検討：キャリアパス要件や職能資格制度を検討し、採用・育成・評価・待遇を一体的に考慮した人事管理・給与体系の確立を目指し経営の安定に努めます。

◆令和3年度 養護老人ホーム亀鶴苑事業計画◆

養護老人ホーム亀鶴苑は、玖珠郡内唯一の措置施設として開院時より重要な役割を担ってきました。高齢化や重度化は措置施設も増加傾向であり平成28年6月から介護保険事業への参入、令和2年4月からはデイサービス事業を休止し、訪問介護サービス事業だけの運営を行ってきました。今年度も引き続き、訪問介護サービス事業により力を入れることで運営の安定化を目指します。また、入居者の身体状況、サービス利用状況や介護業務内容等をこれまで以上に見直すことで、入居者の多種多様化するニーズに合った介護や生活支援を行います。

養護老人ホームは、身体的、精神的、環境的や経済的理由により在宅生活が困難な高齢者を、措置により心身の健康の保持及び、生活の安定を図る高齢者福祉の最後の砦です。これからも行政、福祉、民生委員や関係機関との連絡調整を行いながら措置施設としての社会的役割もはたせられるよう努めます。

そして、職員は玖珠会の基本理念を理解し、より質の高い福祉サービスの提供に努めると共に、入居者の想いに寄り添ったサービスの充実や有する能力に応じた尊厳ある自立支援を行うことで、最後まで自分らしく生きることができる施設「亀鶴苑」を目指します。

◆重点目標と取り組み◆

- 1、措置入所満床を目指す・・・措置施設のため申し込みは行政です。日頃より行政、福祉、医療や各事業者との情報交換・連絡調整を行い、60名満床の確保や空きベッド減少に努めます。また、地域の方や民生委員との関わりをもち措置施設「亀鶴苑」の周知を図ります。
- 2、生活の質を向上・・・亀鶴苑は特定と養護に分かれていますが、一人ひとりに対する最善なサービスを提供するため、アセスメント、評価やサービス計画等を職員全員で共有し、チームケアでのサービス提供と自立支援に繋げます。また、コロナ禍で気軽に外出することができないため、苑内での軽度の運動、レクリエーションや外気浴等を行ない身体機能の維持や改善を図ります。
- 3、健常を管理・・・食事面や医療面からの体調管理を行い入居者の状態を職員間で共有することで主病の管理、疾病の早期発見や早めの受診に繋げ、入院等の長期化を防ぎます。
- 4、感染症対策・・・コロナ等の感染症対策の周知徹底を図ります。また、予防的重要性を理解し、法人や苑内での協議を行い感染症対策の強化に繋げていきます。
- 5、危機管理（リスクマネジメント）・・・亀鶴苑内外で発生する事故や危険に対して、可能な限り防止するため職員がリスクを認識し把握したうえで対応・検討・管理すると共に大きな事故に繋がらないように努めます。
- 6、信頼される施設づくり・・・全職員が法人での内部研修や外部研修の参加にて資質や能力の向上に努め、質の高いサービスの提供に繋げます。また、入居者の状況により精神面の支援や伴走型支援を行なうことで入居者やその家族との信頼関係を構築します。
- 7、経費削減に努める・・・職員一人ひとりがコスト意識を高めると共に、必要物品の見直し、精査や管理を行います。また、施設の物品を大切に扱います。
- 8、防災に対する意識づけを常に行う・・・防災計画に基づき行政、消防や地区関係者等の理解や協力をお願いすると共に、非常災害に対して防災士主導のもと訓練を重ねて行なうことで入居者や職員の防災意識を高め、毎日を安全に過ごせるように努めます。

職員のスキルアップを目指して

腰痛対策チーム主催のノーリフトケア研修会を開催しました。令和2年12月～3月の期間に月2回の頻度で腰痛対策チームの職員が講師を務め、実技研修を行いました。「寝返り・起居・スライディングシート移動」、「人力移乗方法」、「スライディングボード」、「床走行リフト」の4つのテーマに対し、普段行っているノーリフティングケアのポイントを再確認する良い機会となりました。今後も定期的に開催していく、職員のレベルアップを図っていきたいと思います。

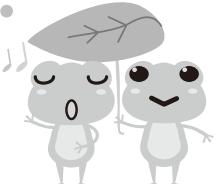
理学療法士 松尾 理



コロナウイルス感染症の予防対策として、ガウンテクニックの研修を行いました。この研修は、施設内で万が一コロナウイルス感染者が発生した場合に、適切な方法を持って対処するためのものです。

今後も定期的にこのような研修を行い、職員間での周知・徹底を図り、円滑に対応ができるように感染対策に努めていきたいと考えています。

看護師 小野 良子



玖珠園スナップ

2021
春



あひな様の前でパチリ。



コロナ禍のため、施設敷地内で桜を鑑賞しました。
春の雰囲気を感じられたようです。



毎年恒例の「花まつり」です。お釈迦様にお参りし、甘茶を頂きました。



介護福祉士合格



金田裕伸

研修の援助、先輩方のアドバイスで合格できました。
園の理念「やさしく ゆったり
よりそって」を念頭に初心に
帰りがんばりたいと思います。



川野光枝

このたび、介護福祉士試験に
合格することができました。これ
からも入居者様が安心して生
活して頂けるように寄り添って
精一杯頑張っていきたいと思
います。



福西知代

介護福祉士として新たなスタ
ートを切ることになりました。
利用者の方に頼りにされる介護
福祉士になれるように頑張りた
いと思います。



森 美紀

玖珠園に入職し、調理で3年、
介護で4年となります。利用者様に笑顔で接していただ
くことが励みになっています。これ
からも利用者様が笑顔でいられ
るような介護を目指していき
たいと思います。



矢野佳子

周りの職員のアドバイスや応
援により、試験に合格するこ
とができました。これからも介護
福祉士の自覚を持ち日々学んで
いけたらと思います。これから
もよろしくお願いします。



後藤典子

介護福祉士試験を受けるにあ
たって、テキストでの学習や、
実務者研修に参加したことが、
日々の業務にプラスになりました。
これからもよろしくお願ひい
します。



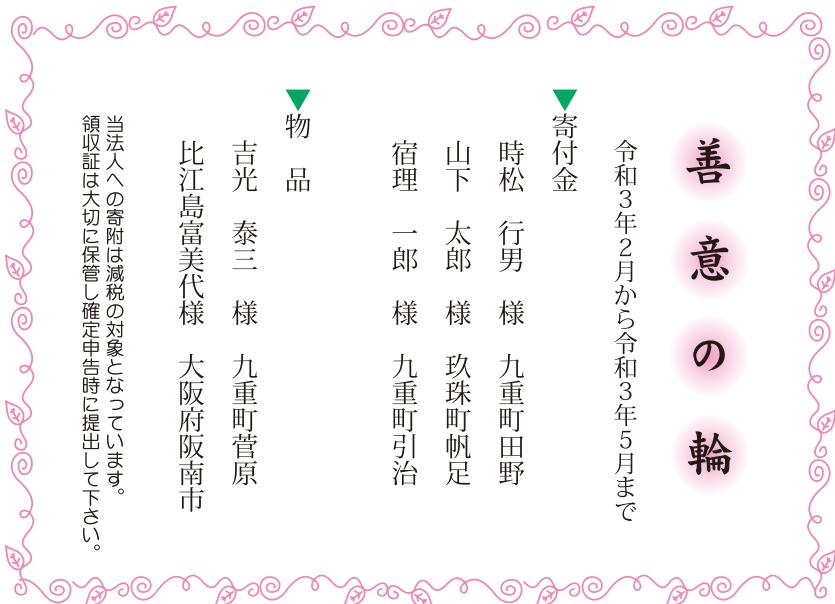
- ①氏名 ②勤務先
- ③職種 ④趣味
- ⑤一言



- ①佐藤グレス デ レオン
- ②特別養護老人ホーム玖珠園
- ③環境スタッフ
- ④バスケットボール
- ⑤来日して2年になります。日本語
はまだ少しあわかりませんが
一生懸命頑張ります。



- ①大城 歩
- ②養護老人ホーム亀鶴苑
- ③事務員
- ④美味しいパン屋を見つける事
- ⑤楽しく一生懸命頑張りたいと
思います。
よろしくお願ひします。



令和3年3月27日	藤野チエ子様
令和3年4月2日	相良キク工様
令和3年4月5日	宿理千鶴子様
令和3年4月23日	渡邊ハツエ様
令和3年5月10日	高倉 美代様
令和3年5月17日	井上 葉子様
令和3年5月18日	小川 政利様
81歳	90歳
101歳	101歳
91歳	93歳

ご冥福をお祈りいたします。



ホームページが新しくなりました

このたび、玖珠園ホームページをリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、玖珠会の魅力を前面に押し出すとともに、必要な情報が探しやすくなっています。

今後ともご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。



こちらから
アクセス

職員募集しています

詳しくはホームページをご覧ください。

介護サービスなど何でもお気軽にご相談ください!

介護保険総合福祉センター
指定介護老人福祉施設
社会福祉法人 玖珠会

玖 珠 園

〒879-4414 大分県玖珠郡玖珠町大字大隈325番地
TEL (0973) 72-3413 FAX (0973) 72-4067
E-mail info@kusuen.or.jp URL http://www.kusuen.or.jp/

編集後記



今回の表紙は、園庭に咲くツツジをメインに、縁起が良いとされるツバメの巣など、施設内にある「ほっとするもの」を載せました。

コロナ禍で大変な時期ですが、時には身の回りの「ほっとするもの」に心落ち憑かせることが必要だと感じます。

今年度も広報誌・ホームページ・SNS等を通じて玖珠会の情報を発信していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

T. T